

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		夏休み子ども講座実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連										
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	高木敏明							
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	森田由貴恵							
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供			所属班	図書館班	(内線)	1540							
予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	8	事業連番	-	法令根拠	図書館法第3条(図書館奉仕)、合志市立図書館条例第5条	成果優先度評価結果	3	コスト削減優先度評価結果	11
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)												

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	夏休み中に休館日の図書館を利用して開催する。参加者は持ち寄った課題に対し図書館司書から各々の課題解決のために図書館資料活用方法を学ぶ。図書館司書5名は、一人あたり5・6名程の指導に当たる。小中学校において、調べ学習が開始されたので、平成13年度の夏休みに図書館資料を使った調べ方の基礎指導を実施した。以後、夏休み期間中の図書館の閉館日の一日のみ実施している。
【業務の流れ】	合志市立小・中学校に対し参加者募集のチラシ作成及び配布。申込受付・指導案作成・配布参考資料作製。図書館資料を使った調べ学習の基礎指導。
【主な予算費目】	
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	夏休みは、対象者である子どもたちの家庭や地域での予定が多いので連絡を密にし、子どもたちが参加しやすい状況で実施することが重要である。生涯を支える基礎を成す事業であるのでは非続けて欲しいという意見がある。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
8月10日(月曜日)の図書館休館日に市内の中学生と小学4~6年生を対象として開催した。実施時間帯は10:00~12:00、13:00~15:00、10:00~15:00の3コースに分かれており、参加予定者から調べたい内容を申込とともに受け、事前に資料等を準備するなど指導しやすい体制づくりを図った。参加者6名であった。	廃止
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 開催回数	回
⇒ イ 参加募集人数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
合志市内の小学校4~6年生と中学生	⇒ ア 実際参加した児童生徒数
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
対象者が、図書館資料を使って、自分自身で的確な情報を収集し判断する方法を身につけるようにする。	⇒ ア 募集した人数に対する参加者の割合
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア	回	1	1	1	1			
	イ	人	30	30	30	30			
⑤ 対象指標	ア	人	15	23	25	6			
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	50	76	83	20			
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	7	0	0	0	0	0
	(A) 事業費計	千円	7	0	0	0	0	0	
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	3	2	2	
	延べ業務時間	時間	16	16	16	60	16	16	
	(B)人件費計	千円	64	64	64	239	64	64	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	71	64	64	239	64	64	

総トータルコスト	全体計画
~	年度
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

事務事業名	夏休み子ども講座実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

学校等に夏休みの各種行事を確認し、相談した上で開催日を決定したが、対象者である児童・生徒の事情が多様であるため結果として参加人数は目標値を大きく下回る6名であった。通常業務の中で準備し、当日は職員2名を含む8名で対応したが、費用対効果的にも無駄が多い。当事業は廃止し、今後は通常業務の中で、児童生徒の状況に合わせ随時児童生徒の調べ学習に対応していきたい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 対象者である児童・生徒の事情が多様であるため、開催日を1日に限定することは困難である。今後は、夏休み期間中、随時児童生徒の調べ学習に対応していきたい。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				

## (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策